

## 府営水道 広域化、大幅値上げ押しつけるな

### 京都府へ申し入れ

#### 森下よしみ府議、八幡市議団らが参加

日本共産党は10月24日、京都府知事にたいして、水道事業の広域化、府営水道料金の値上げを押しつけないよう申し入れました。要請には、森下よしみ府議、八幡市議団から亀田市議が参加しました。

国による水道法改定(昨年12月)で水道の広域化・民営化の促進がねられるもとの、京都府が北部、中部、南部の3圏域での広域化について、2029年度以降に「事業統合」というスケジュールを示していることが明らかになりました。府は「京都水道ブランドデザイン」のなかで民間事業者との連携の推進を掲げています。

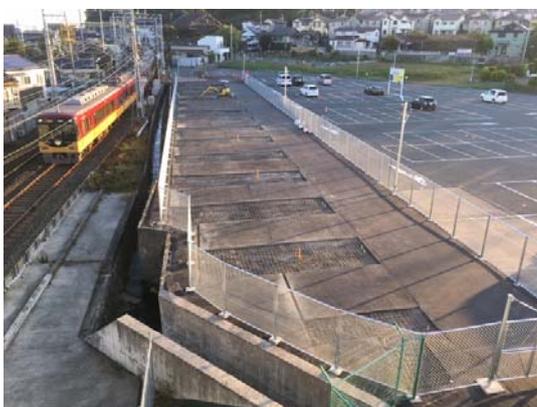
また、府営水道事業経営審議会で宇治系の府営水供給料金について、建設負担料金と使



用料金を合わせて30%値上げする答申が提示されています。日本共産党は府に対して、つぎの2点を申し入れました。

- ①府南部の水道事業の広域化・事業統合を進めないこと。各自治体における水道事業の運営は、各自治体が決めることであり、広域化・事業統合を押しつけないこと。
- ②宇治系の府営水供給料金の値上げはおこなわないこと。

府の担当者は「画一的に進めない。市町村の意見は十分に聞く」と回答しました。



フェンスで囲っている場所が新たな駐輪場。11月13日現在で料金などの表示はありません。

八幡市の橋本駅市営駐輪場(無料)が駅周辺整備に伴い廃止され、12月2日から京阪電鉄が有料の駐輪場を開設します。市広報によると、新料金は24時間で自転車が150円、原付バイク(50cc以下)が200円、大型バイクは300円です。八幡市駅前の駐輪場のように、通勤・通学用の定期利用は定めず、一時利用のみとなっています。利用料金についての掲示は市の広報だけで、現地には何の表示もありません(13日時点)。利用者から「満車になればどうなる」「料金設定はどうなる」などの質問が寄せられています。

**橋本駅前の市営駐輪場が廃止  
京阪が運営し有料化へ**